

環境・エネルギー 工学専攻		受験番号	
------------------	--	------	--

平成 24 年度大学院前期課程

環境・エネルギー工学専攻

専門科目 入試問題

科目名	出題番号
環境・エネルギー工学総論	問 1 (1) (2) (必修)
環境エネルギー科学	問 2 (1) (2) (3) (選択)
エネルギーシステム工学	問 3 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (選択)
循環型材料・資源工学	問 4 (1) (2) (選択)
共生環境デザイン学	問 5 (1) (2) (3) (選択)
環境計画システム学	問 6 (1) (2) (選択)

【注意】

- ・ 本紙および解答した各問題解答用紙に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 問 1 は必ず解答すること。また、問 2・問 3・問 4・問 5・問 6 については、2 題を選択して解答すること。
- ・ 問 2・問 3・問 4・問 5・問 6 の内、選択した問の番号に○印をつけること。

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

平成 23 年 8 月 22 日 (月)

環境・エネルギー 工学専攻	共生環境デザイン学【問5】	受験番号	
------------------	---------------	------	--

(1) 以下の問いに答えなさい。

- (a) 自然や都市空間において新しい構造物を計画・設計する際は景観に配慮する必要がある。その地域を管理する公的機関は、構造物建設によって変化する景観を評価し、場合には計画や設計を修正するよう指示することが行われる。景観の評価は多分に主観的な面があり、人により良し悪しが異なる傾向があるが、公的機関はどのようにして評価すべきかを、景観の3つの側面をあげて300字程度で記しなさい。
- (b) 以下の文章の（ア）～（ウ）欄に入るべき用語を解答欄に記入し、なぜそのように期待されているのか理由を200字程度で記しなさい。

従来の建築分野を含む環境デザインでは、意匠設計、構造設計、設備設計、生産設計の流れは（ア）と呼ばれる方法で行われているが、今後は（イ）を中心に設計データを共有しながら設計を進める（ウ）と呼ばれる手法が採用されることが期待されている。

- (c) 今後、地方自治体は、経年劣化していく体育施設、図書館、市民ホールなどの公共建造物について、人口減少や少子高齢化および財政ひっ迫などに伴い、利用者数が減少したという理由で解体撤去することが予想される。一方で、利用者にとって魅力あるように環境デザインを施すことにより存続させる判断もあろう。どういった側面から環境デザインを施すことによって、利用者にとって魅力が向上し、利用するようになるであろうか、3つの側面をあげて200字程度で説明しなさい。

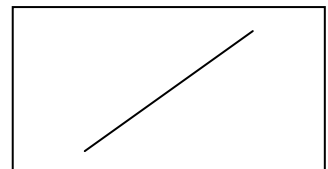
以下に記入すること

(3) (a)

(3) (b)

(ア)	(イ)	(ウ)
-----	-----	-----

【理由】



以下に記入すること

(3) (c)

以下に記入すること

環境・エネルギー 工学専攻	共生環境デザイン学【問5】	受験番号	
------------------	---------------	------	--

(2) 以下の用語をそれぞれ 100 字以内で説明しなさい。

- (a) 交通需要マネジメント
- (b) 廃棄物の最終処分
- (c) クリマアトラス
- (d) コンパクトシティ

(3) 都市に求められる水の機能を 4 つあげ、それぞれについて説明しなさい。また、都市のインフラストラクチャーとしての水関連施設に、どのようなものがあり、どのような役割を果たしているのか述べなさい。

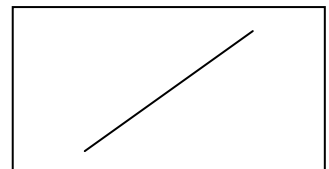
以下に記入すること

(2) (a) 交通需要マネジメント

(2) (b) 廃棄物の最終処分

(2) (c) クリマアトラス

(2) (d) コンパクトシティ



以下に記入すること

(3)

以下に記入すること